

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2002-87292 (P2002-87292A)
【公開日】平成 14 年 3 月 27 日 (2002.3.27)
【出願番号】特願 2000-275372 (P2000-275372)
【国際特許分類第 7 版】
B 6 2 D 5/04
【F I】
B 6 2 D 5/04

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 11 月 9 日 (2004.11.9)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 5
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 5】

フロントフレーム 3 2 は、フロントボディ A 前部、前輪 1 0 , 1 0、ハンドル回動軸 6 0、フロントサスペンションなどを支持している。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 6】

すなわち、フロントサスペンションとして、フロントフレーム 3 2 の前部と後部との下側面部は、左右サスペンションアーム 6 8 の基端部に二箇所ずつある揺動軸 6 8 a を揺動自在に軸支する。また、前記サスペンションアーム 6 8 は左右のそれぞれの基端部に前記のように揺動軸 6 8 a が 2 カ所ずつあり先端部が一か所の二股形状 (ウィッシュボーン形状) になっている。前記サスペンションアーム 6 8 の先端部には、前輪 1 0 , 1 0 を回動自在にかつ左右に揺動可能に軸支する前輪ブラケット 6 8 b が設けられる。また、前記サスペンションアーム 6 8 の上方にはフロントフレーム 3 2 の上部に溶着固定された概略逆 L 字形状のサスペンションブラケット 7 0 の上腕部が位置しており、サスペンションアーム 6 8 とサスペンションブラケット 7 0 上腕部間にスプリングとダンパー等からなるクッションユニット 7 2 が連結されている。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 8】

実施形態において、操舵機構 6 4 は、ハンドル回動軸 6 0 とステアリングシャフト 8 2 の回動軸とが上下にほぼ同一線上に並ぶように配設されたものにするので、従来のステアリング装置でステアリング軸が直線的に配設されているものに対して、容易に付け変えることができる。